



ボランティア紹介リレー

第33回

今回は『さんSUN♡すまいる』さんからの紹介で、『irie fam(アイリー ファム)』さんをご紹介します!

子育て中のママ、子どもを応援している「irie fam」さん。さまざまな活動をされていますが、今回は「防災ママカフェ®」について、代表の小川さん、鈴木さんにお話をうかがいました!

「irie fam」ってこんな団体



中学の同級生である鈴木さん(左)と小川さん(右)

『ママの笑顔は子供の笑顔に、子供の笑顔はママの笑顔に』

子育て中のママたちが、実際に子育てをしながら感じたこと、思ったことを一緒に考えます。SDGsに積極的に取り組んでおり、フードパントリーや防災などに力を入れています。イベントの企画は2人ですが、当日の運営は参加者を含むいろいろな方に協力してもらっています。ちなみに、「irie」はパトワ語で幸せという意味、「fam」はファミリーのことです。

「防災ママカフェ®」とは?

いつ起きるか分からない災害に備え、親子で防災意識を高めるために行っているイベントです。不定期ですが、東日本大震災が起きた3月と、防災月間の9月の開催を目指しています。実際の災害の映像を見たり、被災したママの体験談を聞いたりして、いざそのときに何ができるかを話し合ったり、非常食を試食したりします。津波や、被災地の映像を流すと、辛くなって退席される方もいらっしゃいますが、本当に災害が起きたときは目を背けることはできないので、少しこらえてみてくださいとご案内をしています。カフェという名前がついていることで、興味をもっていただけたらと思いますし、堅い雰囲気ではないので、気軽に参加していただきたいです。防災に限らず、ママたちの交流の場になることを目指しています。



やりがいとは?

2人でわいわい話し合っって企画を考えたり準備をすることが本当に楽しいです。「楽しい」と感じる方向に向かい、いやなこと、つまらないことはやらない!結果的に参加される方の「楽しい」につながっていると感じています。試行錯誤しながらなんとなくやっていたら続いているという感じですが、来てくださる方に喜んでもらえたら嬉しいです。

最後にひとこと!

防災に正解はないと思います。備えていてよかったというものを増やせるといいですね。自分に合った備えとワンアクションをおうちで考えてみてください。お子さんに、自分の一番大事なものを聞いてみて備えたり、家の中でどこが一番安全かを話し合ったり。「防災」と聞くと、難しそう、つまらない、面倒くさい、怖いなどのイメージがある方もいらっしゃるかもしれませんが、お子さんと一緒に楽しみながら学んで、大切な家族の命を守りましょう!何から始めればよいか分からないという方、ぜひ「防災ママカフェ®」にお越しください。

「irie fam」さんウェブサイト⇒<https://irieinity138.wixsite.com/iriefam>
※基本的に情報発信はSNSのみです。



おすすめ福祉の本

ボクはじっとできない



図書館で借りることができます。

バーバラ・エシャム/文 マイク&カール・ゴードン/絵 品川裕香/訳
岩崎書店

おちつきがなく、いつも先生に怒られてしまう男の子デイビッド。なぜ自分は失敗ばかりするんだろうと考えていました。ある日、すばらしい解決策を思いつきますが…!?

ADHD(注意欠如・多動性障害)の子どもが、自分で「気づき」、対策を「見つける」物語です。自分の困りごとに気づき、解決策を発見することはだれにとっても大切です。そんな考え方を、紹介してくれるすてきな絵本です。